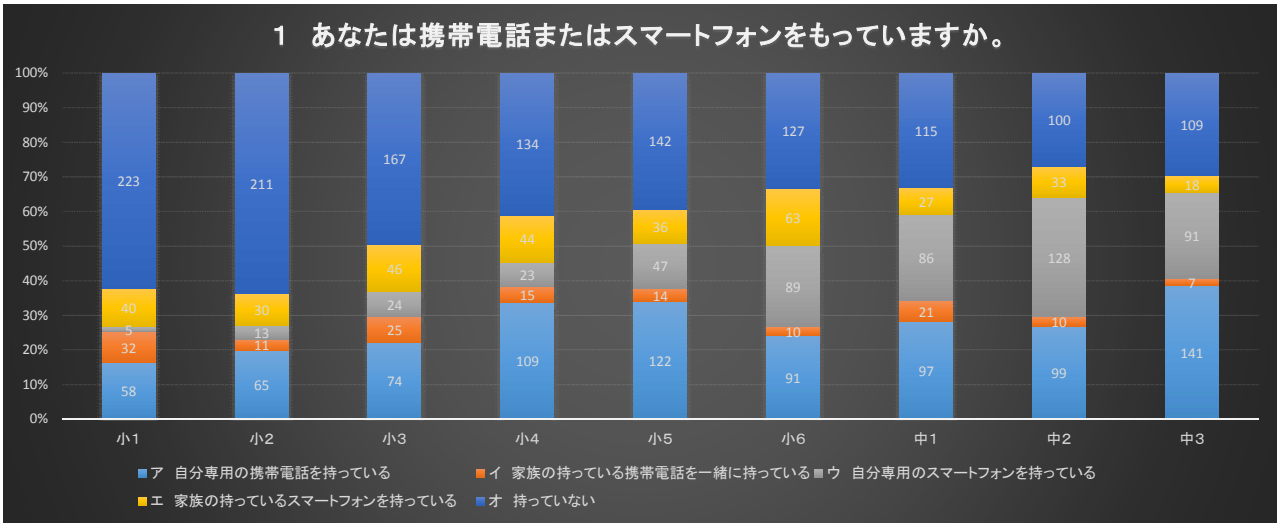
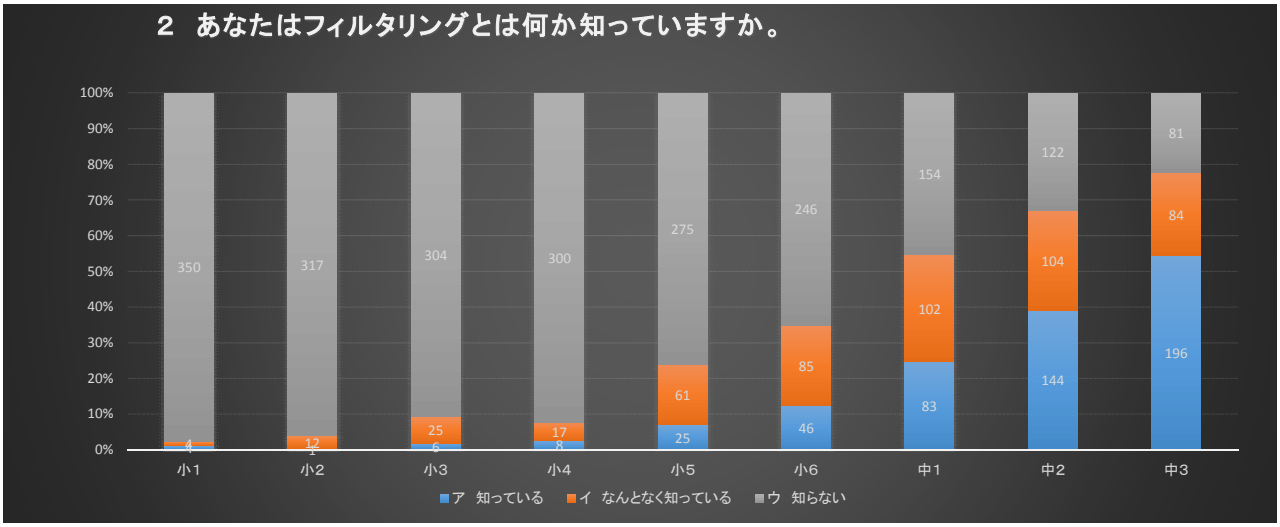
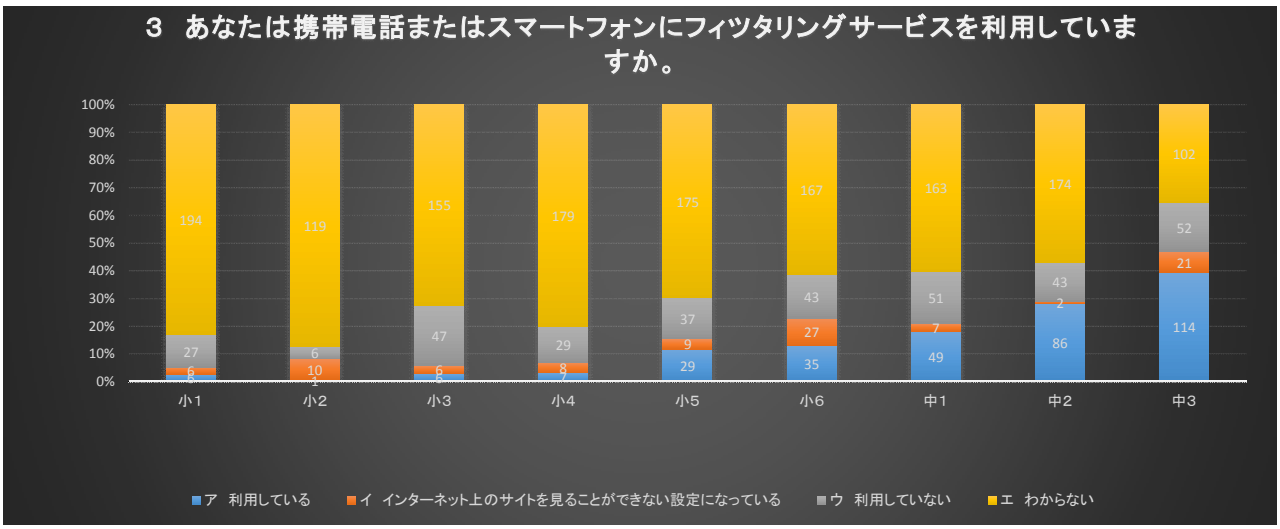
平成 27 年度「携帯・スマートフォンの利用状況等に関するアンケート」調査結果から
（児童・生徒用から）

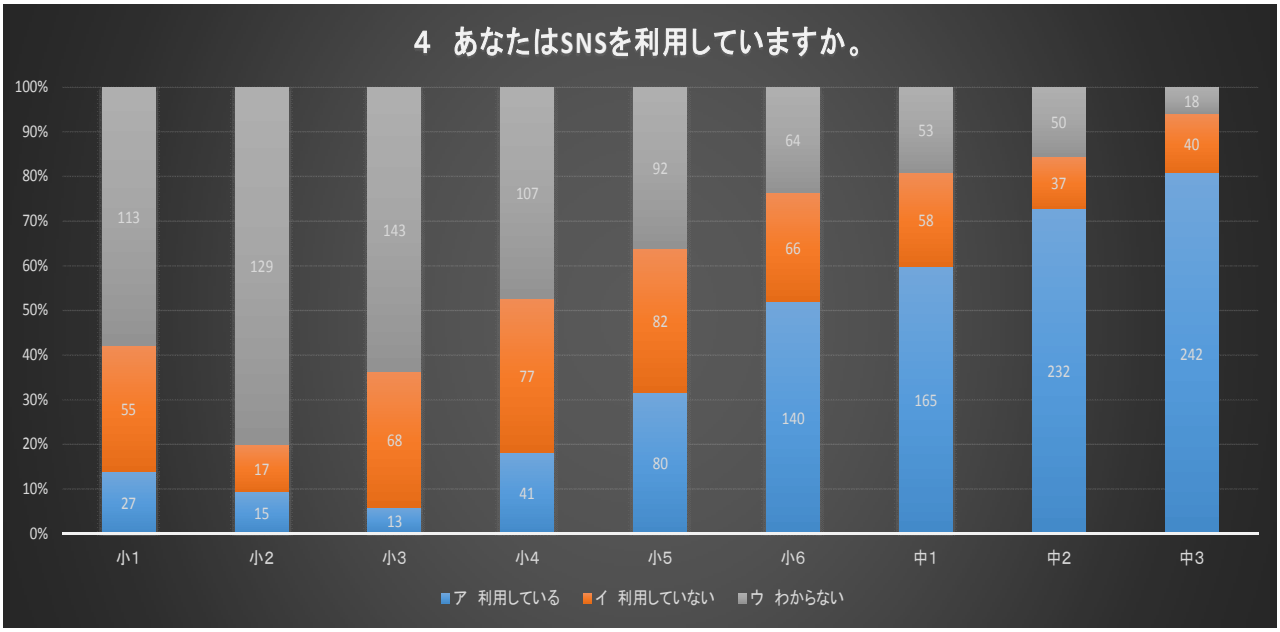


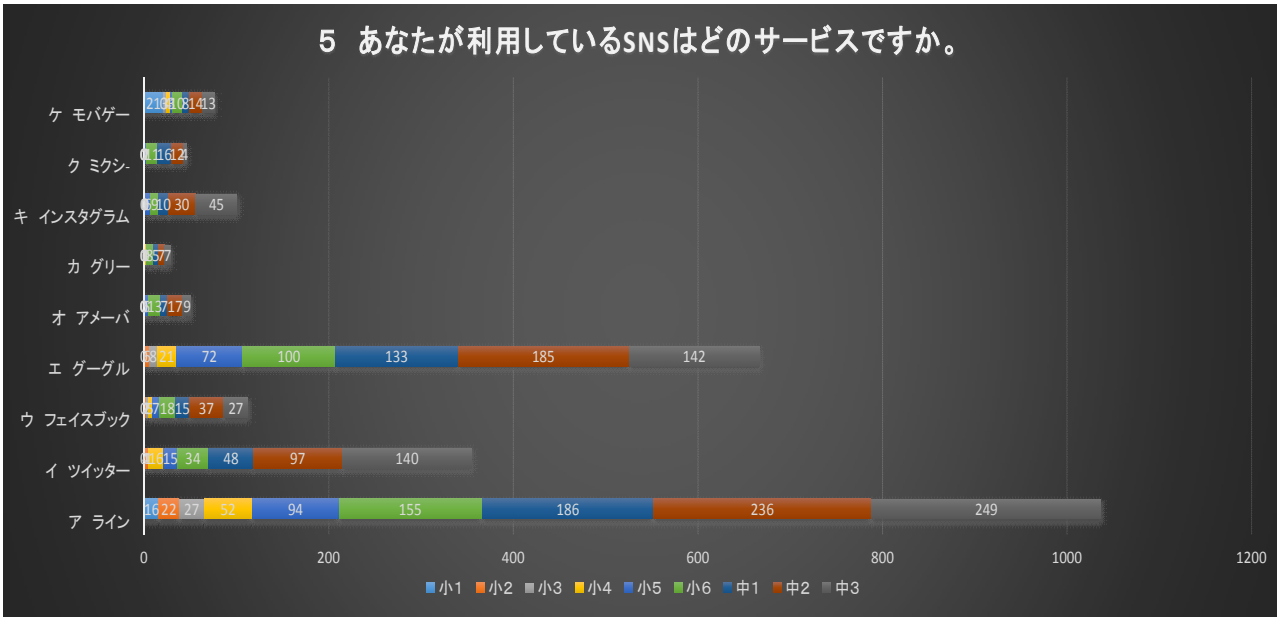
・子ども専用の携帯・スマホの所持率は中学生で約６０％，小学校高学年で約４７％，中学年で約３５％，低学年で約２０％であった。
・家族で共有している携帯・スマホの所持率は中学校で約７０％，小学校高学年で約６０％，中学年で約５０％,低学年で約４０％であった。



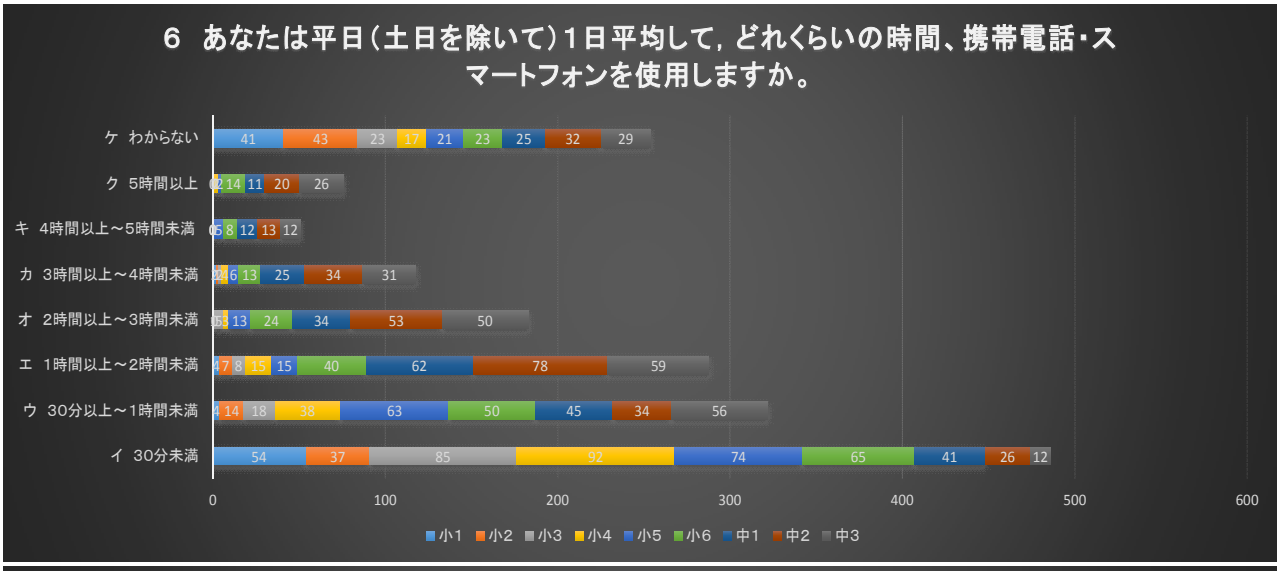


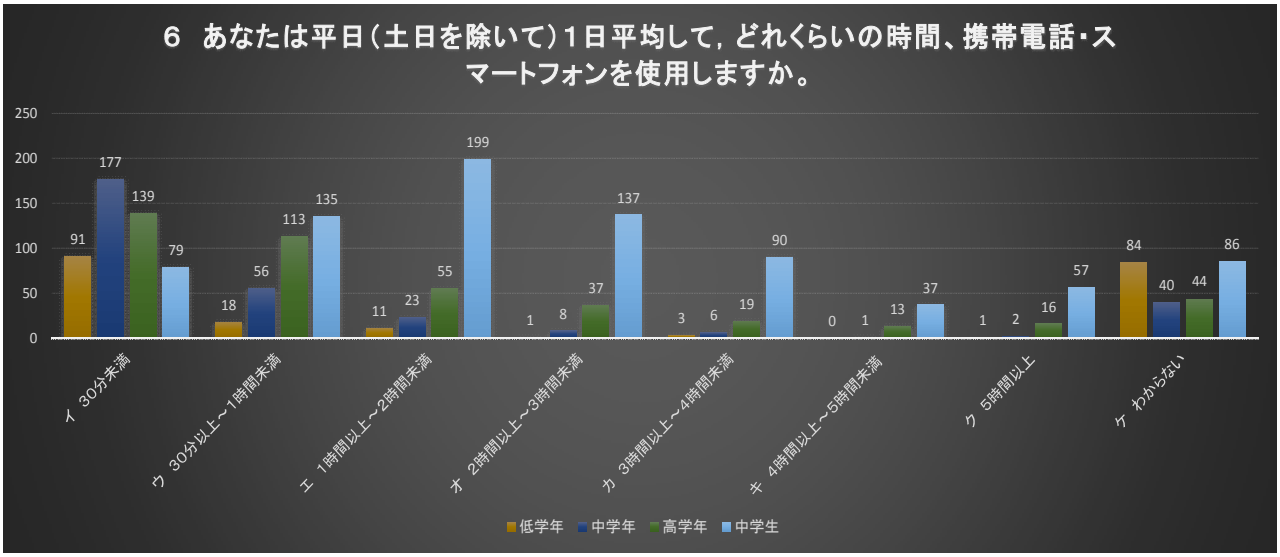
・フィルタリングとは何か知ってる子どもは，中学校で約６７％，小学校高学年で約３０％，中学年で約８％，低学年で約３％であった。
・フィルタリングサービスを利用している子どもは，中学校で約３２％，小学校高学年で約２０％，中学年で約６％，低学年で約６％である



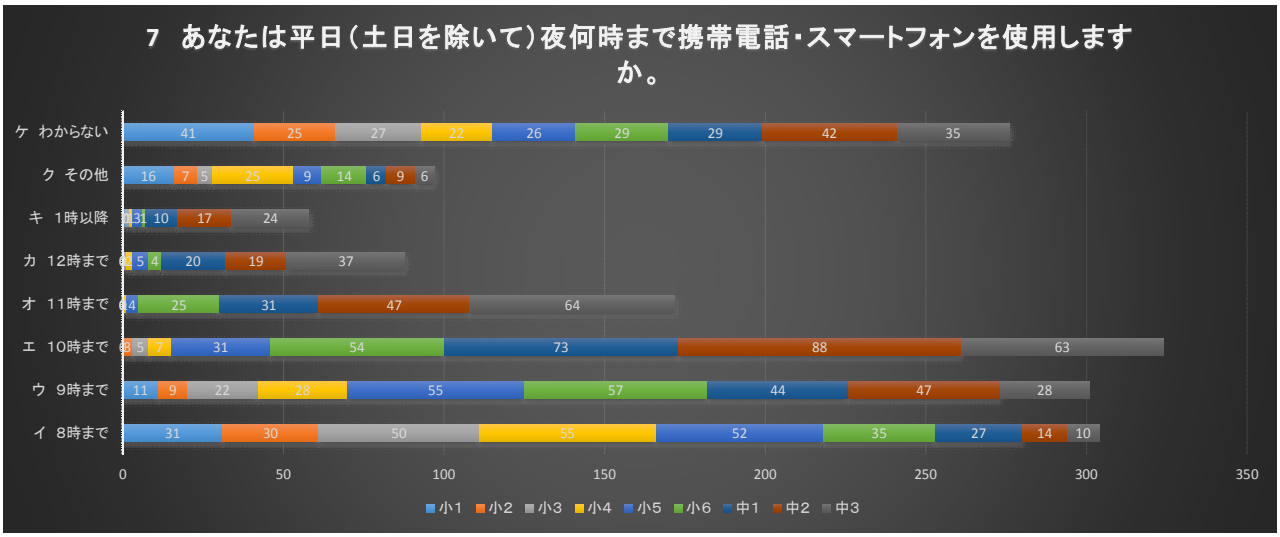


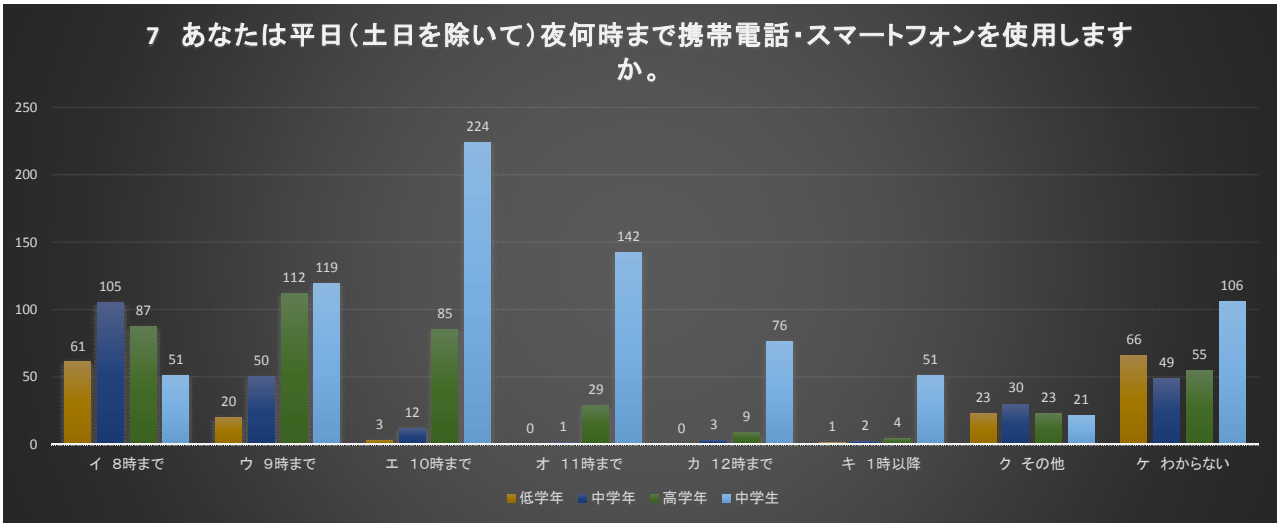
・SNS を利用している子どもは，中学校で約７１％，小学校高学年で，約４２％，中学年で約１２％，低学年で約１２％である。
・児童・生徒が利用している SNS は，「ライン」が最も多く、次いで「グーグル」，その次が「フェイスブック」である。



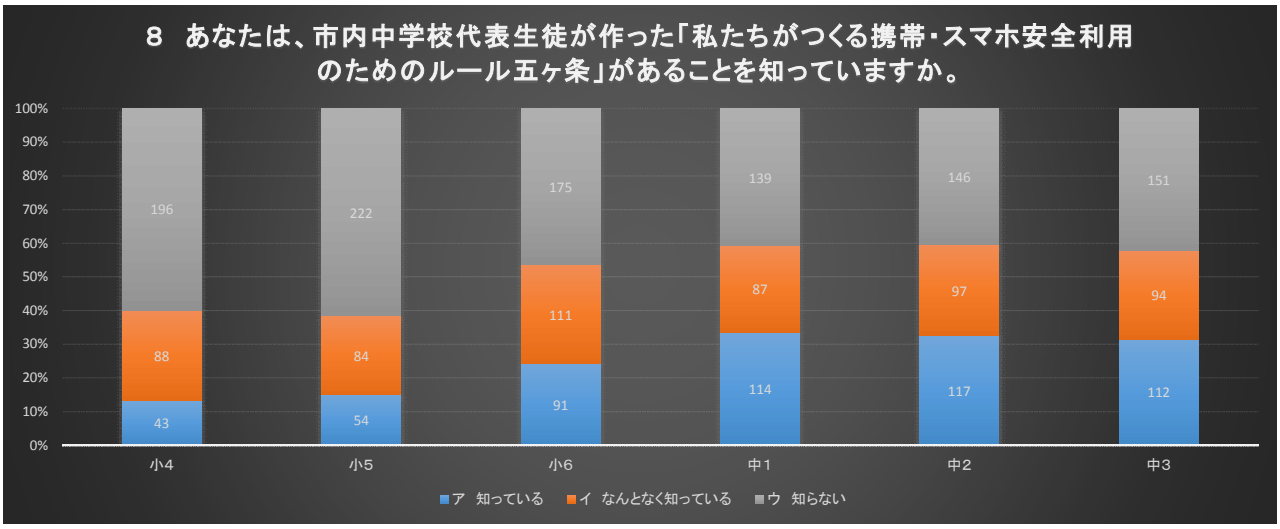


・携帯・スマホの使用時間について，中学生は１９９名が「１時間以上～２時間未満」と答えており，１３７名が「２時間以上～３時間未満」と答えている。３７名が「５時間以上」と答えている。小学校高学年では，１３９名が「３０分未満」，１３３名が「３０分以上～１時間以内」と答えている。中学年，低学年においても，「３０分未満」と答えている児童が最も多い。

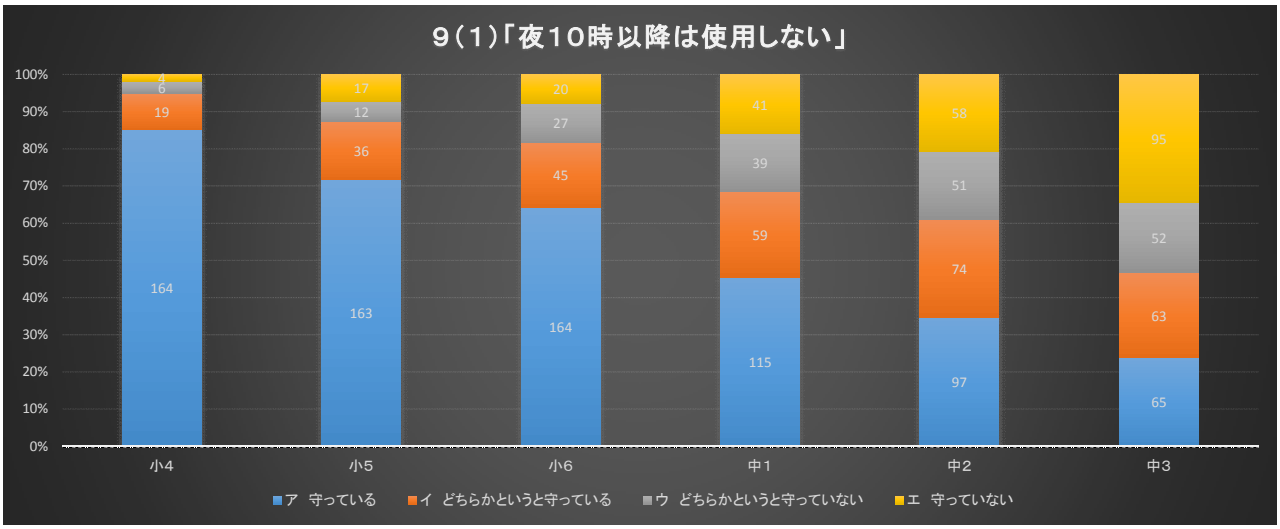




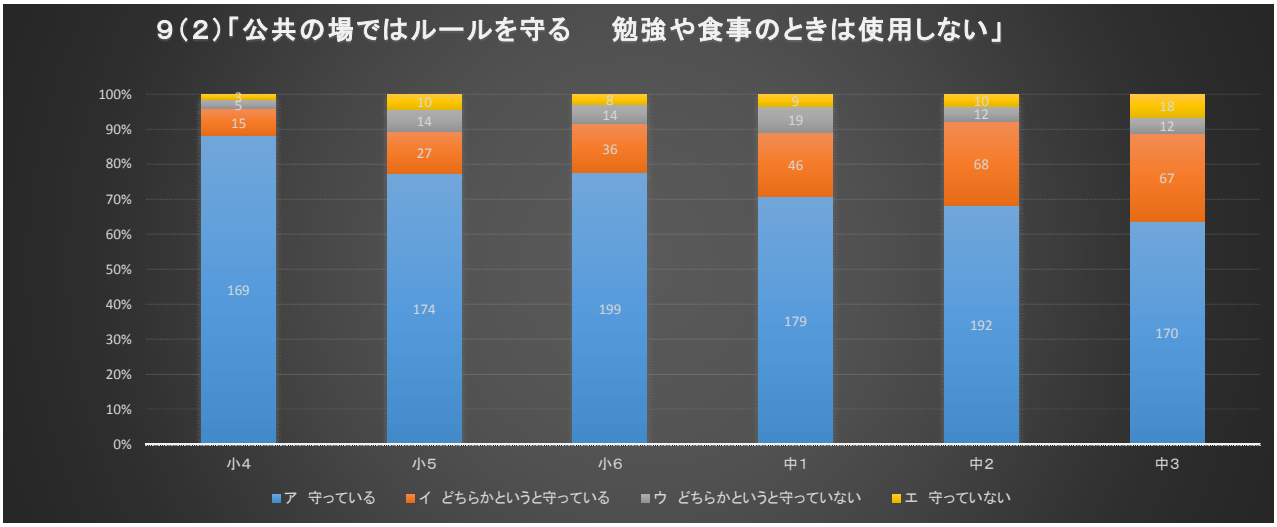
・２２４名の中学生が「１０時まで」と答えており，次いで，１４２名が「１１時まで」と答えている。「１時以降」と答えている中学生が，５１名いる。小学校高学年では，１１２名が「９時まで」，８７名が「８時まで」と答えている。中学年、低学年では，「８時まで」と答えている子どもが多い。



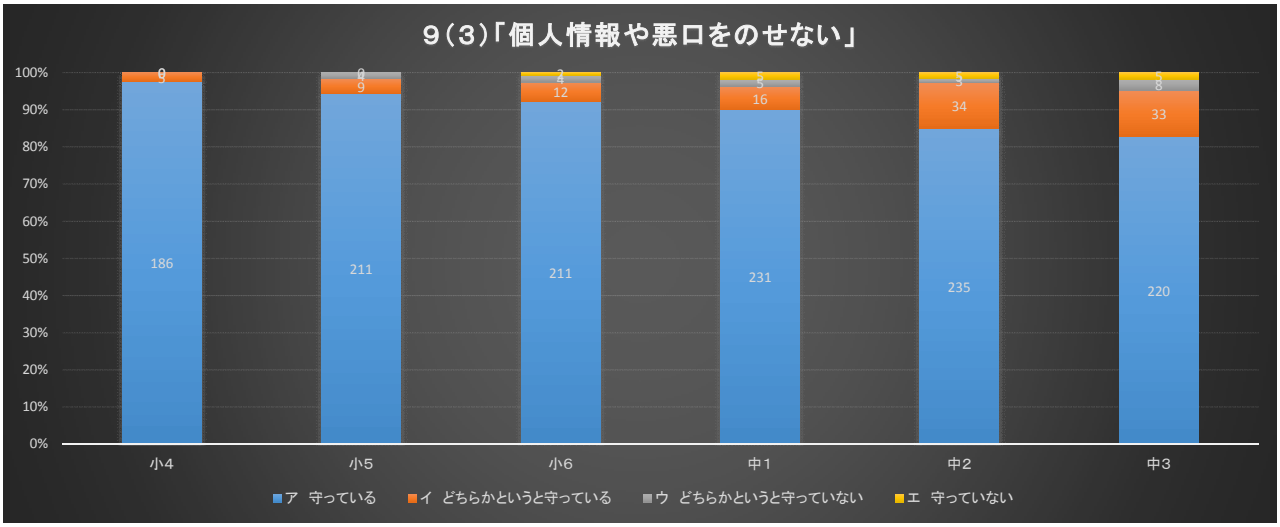
・市内共通ルールの周知率は，中学校で５９％，小学校で４３％である。



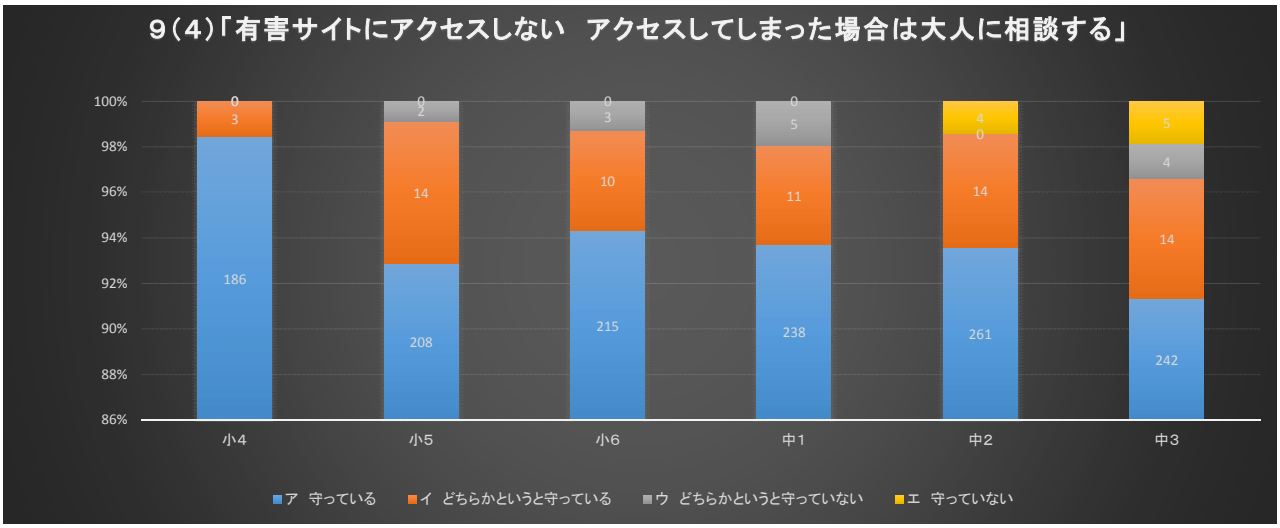
・市内共通ルール「夜１０時以降は使用しない」を守っている子どもは，中学校で５８％，小学校で８８％である。学年が進むにつれて，守れない子どもが増える傾向にある。



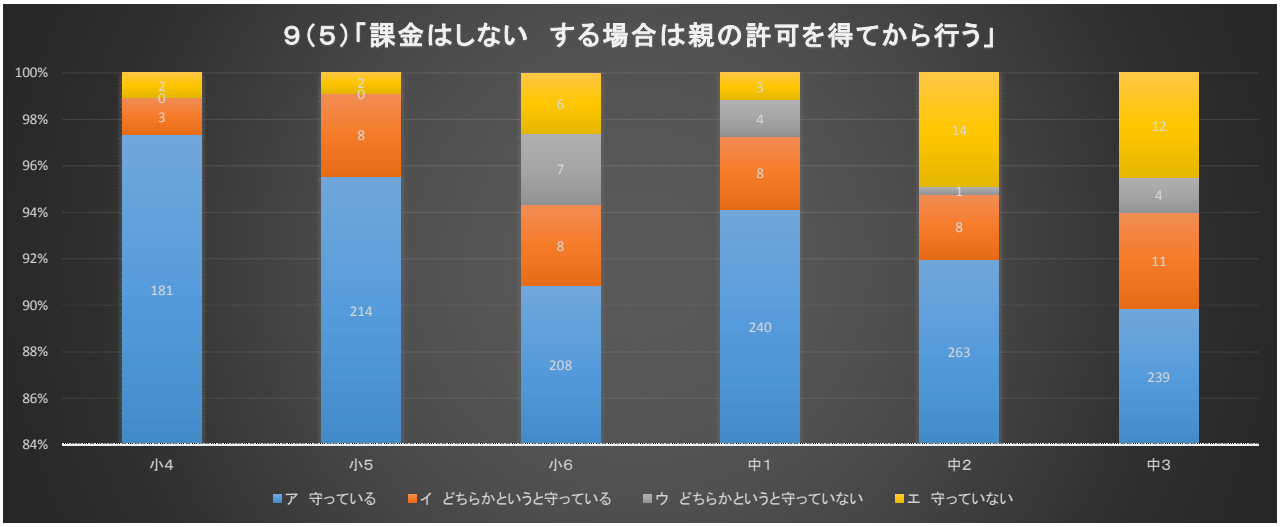
・市内共通ルール「公共の場ではルールを守る　勉強や食事のときは使用しない」を守ってる子どもは，中学校で約９０％，小学校で約９２％である。



・市内共通ルール「個人情報や悪口をのせない」を守ってる子どもは，中学校で約９６％，小学校で約９９％である。

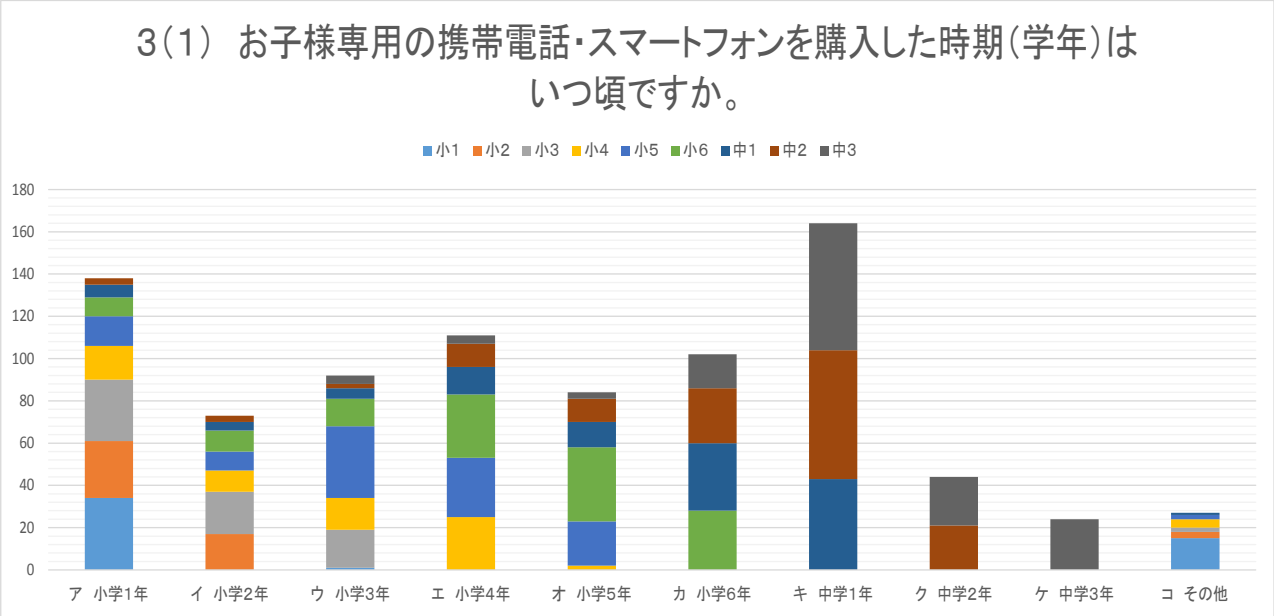


・市内共通ルール「有害サイトにアクセスしない　アクセスしてしまった場合は大人に相談する」を守ってる子どもは，中学校で約９８％，小学校で約９９％である。

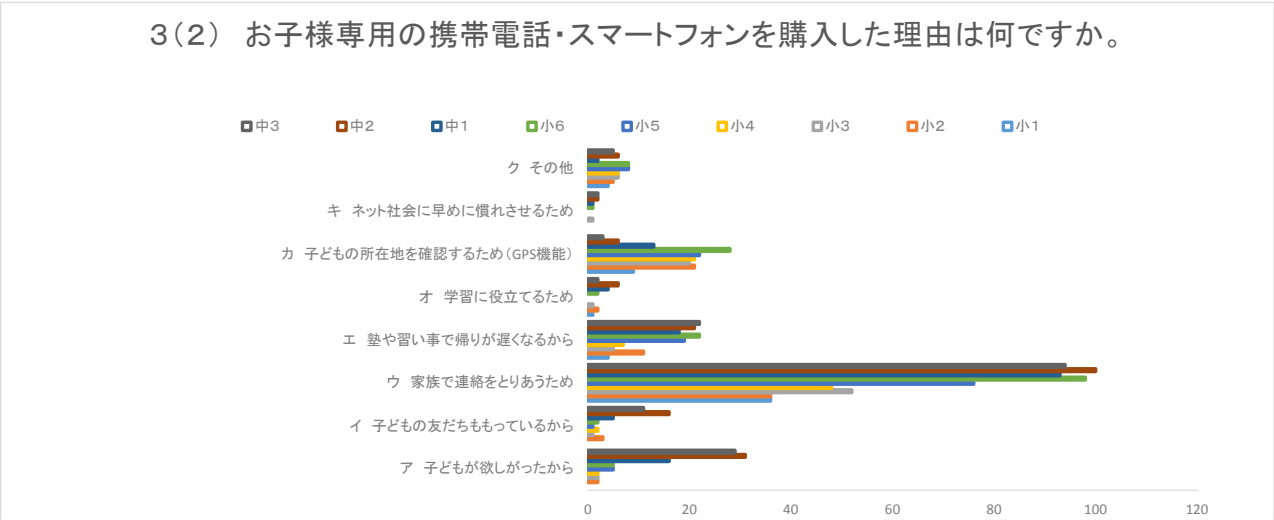


・市内共通ルール「課金はしない　する場合は親の許可を得てから行う」を守ってる子どもは，中学校で約９５％，小学校で約９７％である。

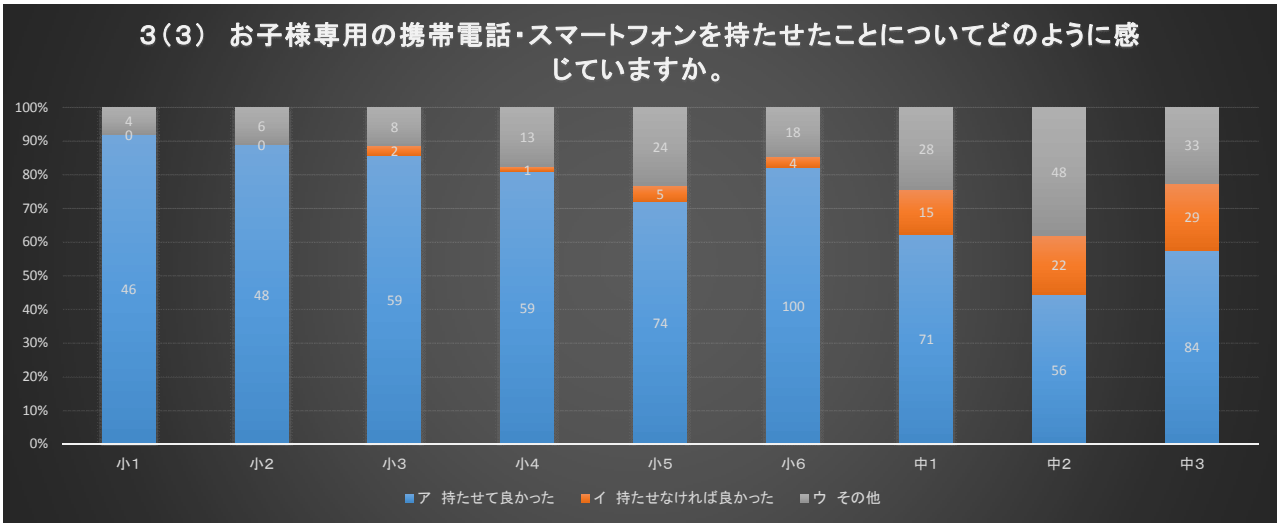
（保護者用アンケートから）



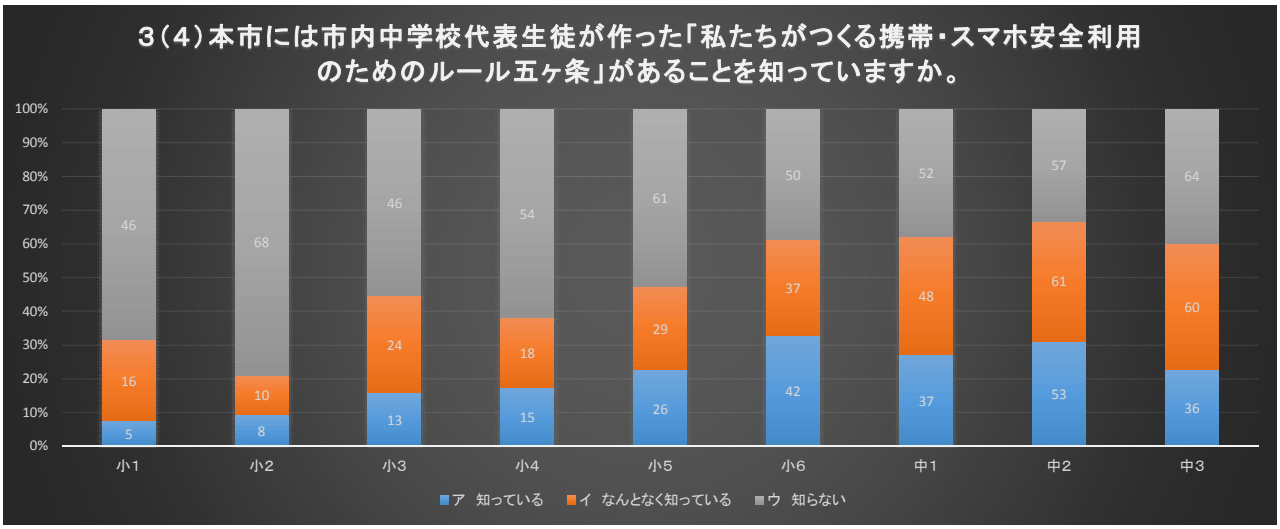
・親が子供に携帯・スマホを買い与える時期について，中学１年（約１６０人）が最も多く，次いで小学１年（約１４０人）となっている。



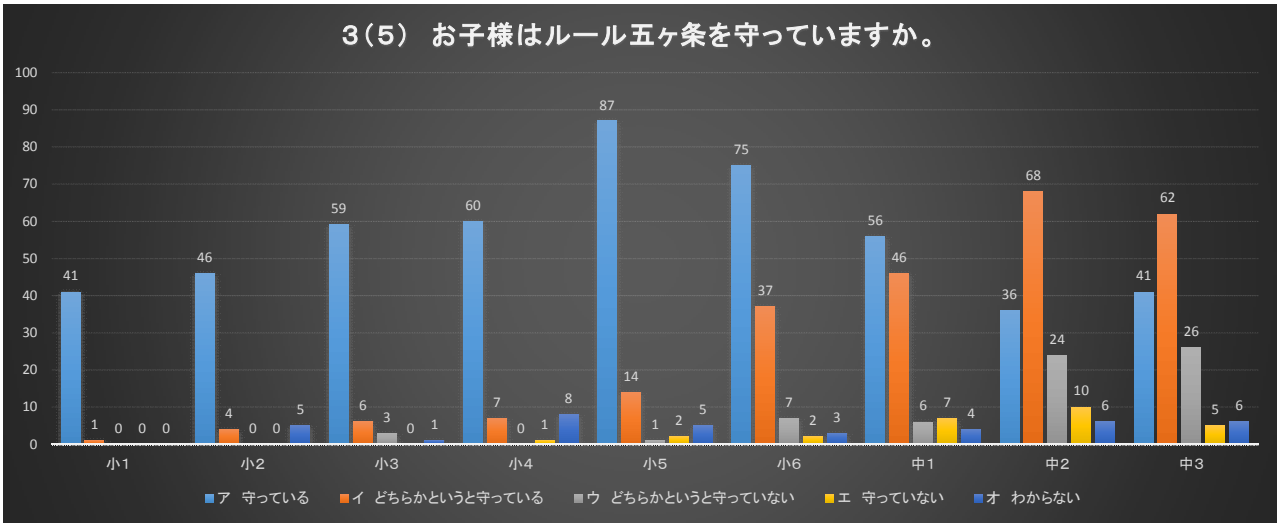
・親が子供に携帯・スマホを買い与える理由は，「連絡を取るため」や「所在地を確認さるため」など安全面に関するものが多い。



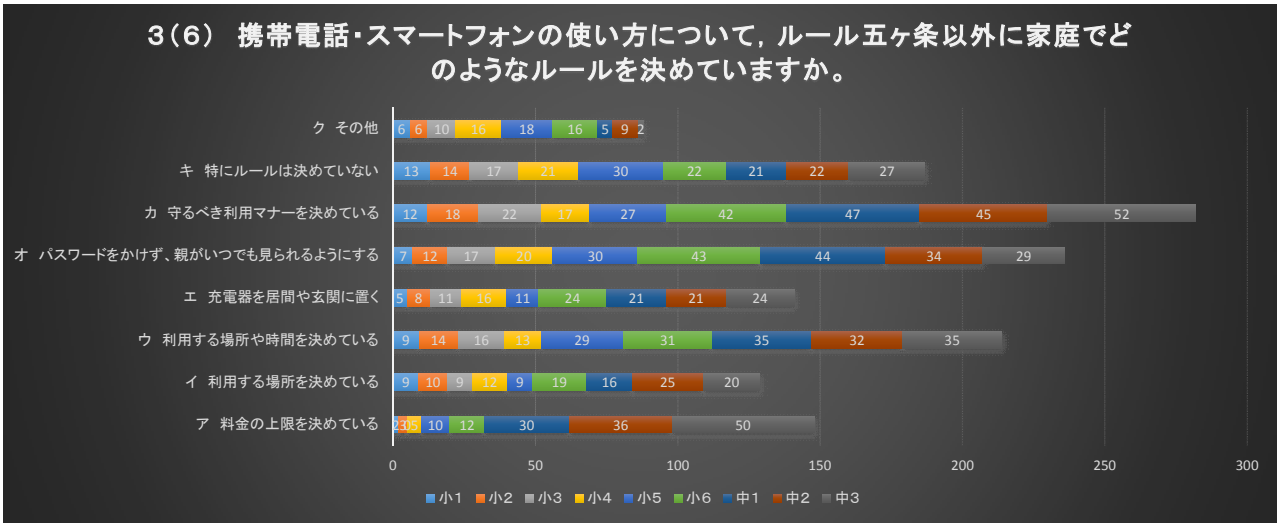
・子ども専用の携帯・スマホを持たせて良かったと感じている親は，中学校で約５５％，小学校高学年で約７７％，中学年で約８３％，低学年で約９０％である。学年が進むにつれ，「持たせなければ良かった」と感じる親が増えている。



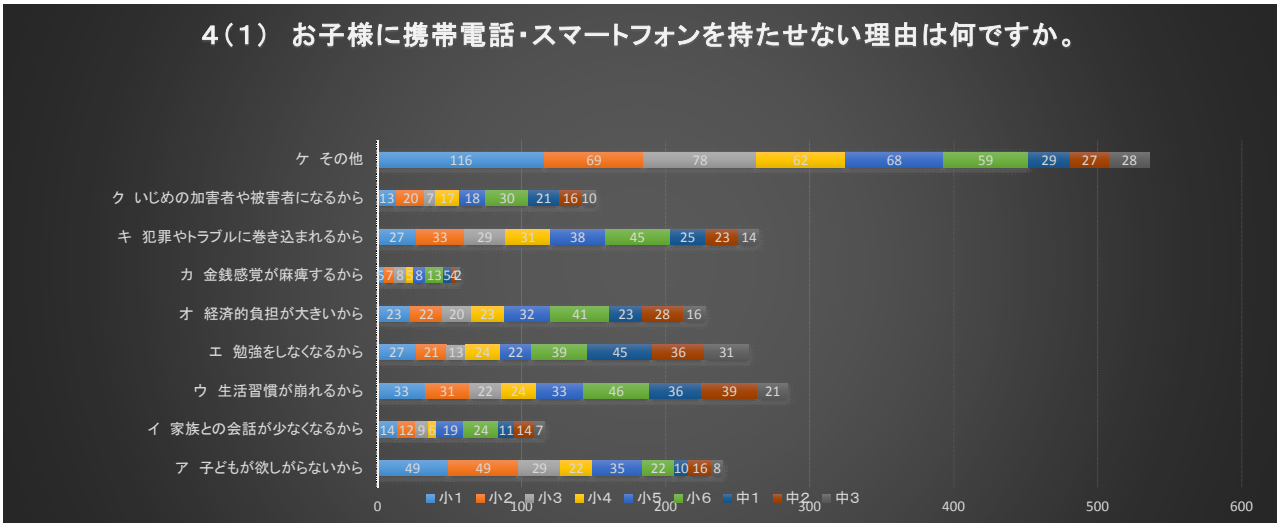
・市内共通ルールがあるのを知っている親は，中学校で６３％，小学校高学年で約５４％中学年で約４１％，低学年で約２５％である。



・子どもが市内共通ルールを守っていると感じている親は，中学校で約７７％，小学校高学年で約９１％，中学年で約９１％，低学年で約９５％である。

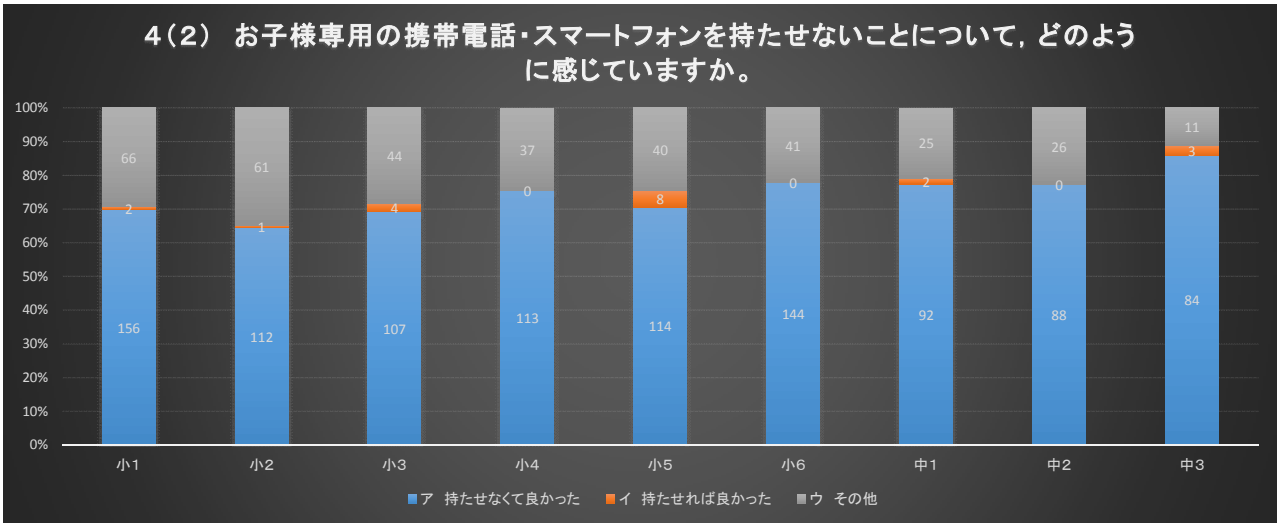


・市内共通ルール以外に家庭で決めているルールとして，「守るべき利用マナーを決めている」「パスワードをかけず、親がいつでも見られるようにする」「利用する場所や時間を決めている」などである。一方で，「特にルールを決めていない」という家庭も多い。

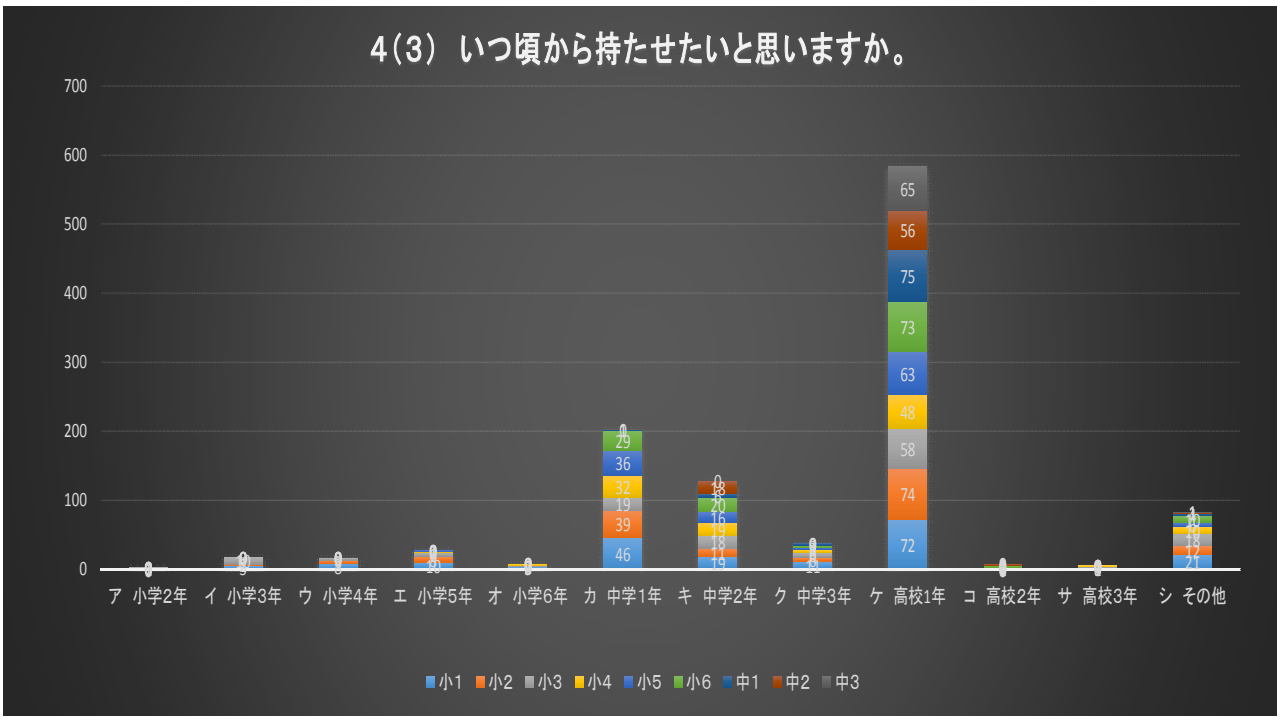


・子どもに携帯・スマホを買い与えない理由は，その他が最も多く，その内容は「まだ早い」「必要性を感じない」である。「生活習慣が乱れるから」，「犯罪やトラブルに巻き込

まれるから」が次に続いている。



・子ども専用の携帯・スマホを買い与えていない親の中で，持たせなくてよかったと感じている親は，中学校で約８０％，小学校高学年では約６９％，中学年では約７２％，低学年では６７．３％である。



・子どもに携帯・スマホを持たせたいと思う時期は，約６００人（１１１５名中）が高校１年，次いで約２００人が中学１年生と考えている。